

校長メッセージ（11月）

水戸桜ノ牧高等学校常北校長

野内 俊明

<読書週間に1冊の本を読もう！>

10月19日（土）雲一つない秋晴れの中，第22回ツール・ド・常北がPTAや地域の方々の協力を得て，爽やかに行われました。ブルーのTシャツを着て，全員が城里町や常陸大宮市を約40キロ，秋の気配を肌で感じながら自転車で颯爽と走り抜けました。一人一人がやり遂げたという達成感，充実感を感じたと思うとともに，沿道にいた小さな子からの，「ガンバッテ」の声援に，「かわいい」と手を振って優しくそれに応えていく本校生に感動しました。

（10／21の茨城新聞に関連記事掲載）

さて，10月27日～11月9日は，「読書週間」です。皆さん，スマホから離れて，本を開き「文字・活字文化」を味わってみませんか。ぜひ，この機会に1冊の本を読んでみましょう。

そこで，私が最近読んだ本を紹介します。

「先生のお庭番」朝井まかて（徳間文庫）

この本は，直木賞受賞作「恋歌」につながる力作で，先生であるシーボルトと彼の薬草園の園丁との心の交流が描かれています。

シーボルトは言う。「私はこの地の花木，草花の株を生きたまま母国に運ぼうと思う」「一万の言葉を費やすより，花一本の美しさで人々は正しくやぱんを知るだろう。憧憬を持って」

そういえば，山々が美しく紅葉してきました。秋を楽しみましょう。

（ツール・ド・常北のポスター）

